

JC NEWS

10月号

Vol.804

- ・ 長崎JCを深堀る！
- ・ 2026年度 委員会・事務局紹介
- ・ 9月地域室担当例会
- ・ 全国大会佐賀大会
- ・ 平和の灯

一般社団法人長崎青年会議所

今後のJCニュースに活かして
参ります！！アンケートのご回
答を宜しくお願い致します。



一般の方は
➡こちら



特別会員は
➡こちら



正会員は
➡こちら

目次

理事長挨拶

..... 3 P

特集

長崎JCを深堀る！

..... 5 P

9月地域室担当例会

..... 9 P

第74年度(2026年)

.....10 P

委員会・事務局紹介

全国大会佐賀大会

.....13 P

全国大会LOMナイト

.....14 P

2025年度一般社団法人佐世保青年会議所

.....15 P

創立72周年記念式典・懇親会

平和推進事業 HOPE NAGASAKI

.....16 P

～長崎から未来へ希望を繋ぐ～

平和の灯

.....17 P

第73年度長崎青年3団体交流事業

.....18 P

グループディスカッション&懇親会

アカデミー会員向け育成事業

.....19 P

～NEXT CONNECTION ∞ 繋がる力が未来を変える～

Re:ADY FOR TOMORROW

.....20 P

～ゼロから始める防災意識改革～

All Jayceesシン・大懇親会のご案内

.....21 P

理事長挨拶



謙虚さは、 成長のはじまり

朝夕の風が涼しく感じられるようになり、すっかり秋の気配が漂って参りました。季節の変わり目ですので、どうぞお体にお気を付けてお過ごし下さい。

さて、10月に入り、理事長としての任期も残すところ3カ月となりました。最近、「JC活動の中で意識していることは何か」と尋ねられることがよくあります。その際に私が必ずお伝えしているのが、「謙虚さを忘れない」ということです。

この姿勢は社業において

も必要不可欠ですが、特にJCのように、利害関係のないメンバー同士が協力して「まちを創り、ひとを創る」ためには、どのような年齢・職業・立場であっても、互いに謙虚さを持ち続けることが何よりも大切です。年齢を重ねるにつれ、様々な役職や立場を経験する機会が増えますが、それらはあくまで「演じている役割」にすぎません。その立場に求められることを自ら読み解き、行動に移すところこそが重要であり、役職や肩書きそのものには本質的な価値はありません。

単年度制の組織だからこそ、毎年変わる自身の立場を謙虚な姿勢で受け止め、学びと成長の機会に変えて



いくことが求められます。先月号のJCニュースでも「どんなひとに惹かれるのかを振り返ってほしい」とお伝えしましたが、私が惹かれるのは、共通して「謙虚さ」を備えた方々です。芯のおった言葉で思いを伝え、他者に共感を生むためには、謙虚さが欠かせません。この心を持つことで、驕ることなく常に自己を更新しようという意欲が生まれ、誰もが成長し続ける存在であることに気付くことができます。

その過程で、自身の「強さ」と「弱さ」を見つめる機会も増えます。特に「弱さ」と向き合うことを避けてしまっっては、成長には繋がりにません。

大切なのは、「弱さを克服すること」ではなく、「自分が不完全であることを受け入れること」です。誰しもが不安や問題を抱えながら生きていますが、それらが完全に解消されることは決してありません。たとえ一時的に解決したように思えても、新たな課題は必ず現れます。逃げ出したくなるときこそ、自分自身とどう向き合うか。その積み重ねこそが、個の成長に繋がります。やがて家庭や社業にも還元されていくのだと感じています。是非とも、自身が不完全であることを受けとめた上で問題だらけの状態を楽しみ、限りある時間を有意義に使ってもらえればと思います。

ふか ぼ 長崎JCを深掘る！

女性座談会



第70年度(2022)入会
青少年育成委員会
森 彩香君



第64年度(2016)入会
総務委員会
四元 聡子君



第66年度(2018)入会
総務委員会
土井 あかり君



第61年度(2013)入会
総務室長
当麻 葵君

10年前、長崎JCでは200名を超える会員の中に、女性会員はわずか6名しかいませんでした。

近年ではその数も着実に増え、現在は14名の女性会員が活躍しています。女性の参画が進むことで、組織の雰囲気や活動のあり方にも大きな変化が生まれ、長崎JCには新たな視点と柔軟な発想がもたらされています。

今回の「長崎JCを深掘る！」では、長崎JCを女性はどう考えているのか座談会を開催し、聞いてきました。これからのJCに求められる多様な視点やあり方について意見を交わし、男性・女性の垣根を越え、それぞれの強みを活かす組織の姿を探っていきます。



聞き手
第64年度入会
渉外広報委員会
中山 笑里

中山：JCは男性が多いので、入会して感じたことありました？



四元：正直、“女性だから”ってことはちょこちょこあったかな。私はタクシー業界で男社会だから、耐性あったけど。ひとにもよるけど「女性が男性を立てるべき」と思ってるひとは何処にもいる。上から目線のひともいるし、社会的にも女性はまだ立場が弱いなって感じる場面は多かったけど、最近はあるまいかな？

土井：女性は結婚して子どもを産んで、家庭を見るべきって発言は嫌われるよね。今は家族で支え合う時代だし。家のことも仕事もお互いに助け合っていくのが当たり前になってきていると思います。桑原さんの所は奥様と分担してるからとっても良いなって思う！



中山：仕事もJCも誰かと助け合いながらじゃないとできないですもんね。何か助けられたエピソードありますか？

四元：メンバーが妊娠中の時かな。安定期に入るまでは誰にも事情は話せないし、ナイーブな時期なの。「委員会になんで来ないの？」って言われるけど、言えない。その時の委員長が理解してくれるひとだったから本当に助かった。ちょっとした配慮や声掛けがあるだけで、全然気持ちが変わるの。

中山：素敵な委員長！でも、うちの深堀委員長は困ったことに私が女性だから？気遣い？遠慮しがちなんですよ。

森：「女性だから頼みづらい」って言われることもあるけど、私達は全然気にしてない！！私達だって力仕事でも夜遅くまで準備だって何でもやりますよ！みなとまつりだって日焼け止め、完全防備でいくので、へっちゃらです！JCの女性メンバーは、ポジティブで良いひとばかりだから、気を使わずにどんどん頼んでほしいなあ。



中山：女性の扱いが分からないように、男性もよく分からないですね。

四元：分かる。女のひとって基本、毎日同じ気持ちで生きてない。いろんなバランスが毎日違って、波みたいなの？ひとによるんだけど。土井さんと中山さんは違うか(笑)

土井：どっちかと言えば私、男かも(笑)日ごとでやる気でない～とかは、ないかな。



当麻：こういう考えは、男性は分からないと思うけど、知ってた方がお互い楽かも。目標思考が強い女性はなりづらいって聞いた。男のひとって目標と目的があって行動する3つが揃ってないとほぼ動かない。逆に目標とかななくても、動ける生き物が女性。そういう意味で女性にはキチンと作業を決めてお願いすれば、キッチリ動いてくれることが多いかもね！

中山：女性委員長としてメンバーをまとめる時、大変でした？



土井：私は奇跡的にメンバーに恵まれてて苦労はあまり無かったかも。決めてたことは頼む時は、“下からお願いする”ってして、絶対に上からはいきたくなかったかな。

当麻：そうそう。委員会はメンバーによって大変さが全然違うんだろうけどね。

四元：私も基本“下から”だけど、通じないひとには“上から”も必要。ひとによってアプローチを変えるのが大事かな(笑)

中山：男性にない女性ならではの強みとかって何だと思いますか？

四元：女性って、細かいところに気がつくし、気が利くひとが多いと思うんですよね。企画を立てるときも、細かい部分までイメージできる。とこかな？



土井：私、結構妄想しちゃうから、妄想が膨らんじやって、準備の段階からいろんなアイデアが出てくるんです。自己満足にならないように、「こうしたらもっと面白くなる」って、どんどん妄想を形にしていく感じ。目的、結果に捕らわれず過程を大事にできるところかな！昔は女性理事がほとんどいなかったから、配慮が足りないことも多かったかな。女性更衣室とか授乳室とか、全く考えられてなかったり。取り合えず役割に人数割いてるとかあったかな。でも今は女性理事も増えて、ようやく変わってきたなって感じる。

森：男性中心だった時代は勢い重視で、ちょっと荒っぽい部分もあったよね（笑）厳しかったけど、芯があって、組織の本質を教えてくれるひと達が多かった。最近は穏やかで優しいひとが増えたので厳しいひとは減ったけど。どっちが良いんだろう。

四元：今は少し仲良しみたいになってるところもあるけど、JCって本来「学びの場」だからね。組織でどう動くかを学ぶ場所でもある。だから、もう一度その原点に立ち返ることが大事かな。

土井：そこに女性が増えきた今だからこそ、いろんな意見を取り入れて、もっと良い組織にしていけると思う。

当麻：性別に関係なく、お互いの強みを認め合って活動していくのが理想ですよ。

森：遠慮はせず、気遣いは忘れずに。女性ならではの柔軟さと発想力を活かして、JCをもっと面白くしていきたい。

今回の座談会では、女性メンバーのリアルな声をとおして、JCも少しずつ変わってきた姿が見えてきました。「配慮はしても、遠慮はしない。」この言葉に、女性の強さと優しさが詰まっていました。これからのJCは、男女問わず“個性と信頼”で繋がり、活躍できる時代を迎えています。

以前は長崎JC女子会は定期的に開催してましたが、コロナになって中止してましたが、もうそろそろ復活したらなと思っています。話題は、もちろん記事にできない内容ばかりです（笑）



9月地域室担当例会

GLOW UP NAGASAKI ～Z世代によるまちづくり～



9月2日（火）ホテルニュー長崎にて、9月地域室担当例会「GLOW UP NAGASAKI～Z世代によるまちづくり～」が開催され、北九州市Z世代課・課長の柏木佳奈子様、Z世代課パートナーズの山崎駆様をお招きしました。当日は行政や若者団体の方も参加し盛り上がりました。

北九州市では、若者をまちづくりのパートナーとして参画させることで、60年ぶりに転入超過を実現！その背景にはZ世代課の設置や様々な取り組みがありました。柏木様からは「区役所創造プロジェクト」や「Z世代課アイデアコンテスト」などの事例を、山崎様からはZ世代課パートナーズの取り組みや成果についてご紹介いただきました。若い職員を中心としたZ世代課の存在によって若者との繋がりが生まれ、行政をより身近に感じられるようになり、企業や団体の意識や行動にも変化が生まれたことをお話いただきました。

Z世代の特徴や発信方法、職員の変化や活躍などについて意見交換が行われました。今後は北九州市を「変わり続けるまち」として発展させ、関係性の深化と経済の活性化を目指していくとのことでした。会員や一般参加の方の機運が上がった担当例会でした。



インパクトのある「Z世代課」という名前、組織構成や事業なども挑戦的な取り組みばかりでした。まちをフィールドに若いひとがイキイキと活動する環境づくりが印象的でした（渉外広報委員会・森恭平）

2026年度 委員会・事務局紹介

2026年度（第74年度）の所属及びメンバーも決定し、9月には初顔合わせが行われました。各委員会・事務局では、副委員長・運営幹事・拡大幹事・事務局次長が出揃い、次年度に向けた新たな体制が整いました。それぞれが次年度の方向性を共有し、事業計画や組織運営の準備を着実に進めています。委員会ごとの個性や強みを活かしながら、互いに協力し合い、より活気ある組織づくりを目指す意識が高まっています。

2026年度は、寺澤理事長予定者を先頭に、長崎青年会議所が掲げる「明るい豊かな社会の実現」に向けて、歩み出していきます。

地域活性化委員会



委員長

殿村 恒司君



副委員長

浦川 隆明君



運営幹事

佐藤 健人君



拡大幹事

尾川 太一君

一倉 瑞貴君

大崎 優希君

神谷 月乃君

川内 徹君

辻 和一郎君

中山 笑里君

宮地 聖君

山崎 健君

渡辺 弘昌君

人財育成委員会



委員長

森 大地君



副委員長

新垣 充生君



運営幹事

川瀬 彰君



拡大幹事

勝部 光太郎君

荒木 理子君

浦川 翔平君

小林 雄太君

相良 幸希君

佐藤 涼平君

中浦 友樹君

溝上 勝利君

山上 叡君

山本 侑君

会員拡大委員会



委員長
本間 圭亮君
赤瀬 平君
長野 雄太君



副委員長
北島 秀基君
折式田 一尊君
花原 結希君



運営幹事
岩満 隼平君
川端 翔君
福田 共矢君



拡大幹事
山地 弘譜君
齊藤 城君
蒔田 賢太君

例会交流委員会



委員長
田川 雄大君
内野 信明君
平田 太郎君



副委員長
大辻 佑磨君
大黒 凌君
深堀 直樹君



運営幹事
青木 亮介君
中野 亮君
山田 竜也君



拡大幹事
野口 雄司君
濱崎 賢司朗君
檮木 華南君

渉外委員会



委員長
鳥巢 峻輝君
島崎 涼君
橋口 大輝君



副委員長
古場 繁君
爲田 正平君
濱村 勇汰君



運営幹事
川端 浩平君
多良 匠平君
溝口 雄大君



拡大幹事
関 美幸君

広報委員会



委員長
横内 裕太君
山田 彩奈君
中野 雅也君



副委員長
深堀 弘樹君
江口 大輝君
松尾 一要君



運営幹事
中野 雅也君



拡大幹事
中本 敦喜君

倉富 貴大君 國枝 政晃君
森 恭平君 山田 幸平君

総務委員会



委員長
田川 昭彦君
秋浦 有紀君
溝上 建吾君



副委員長
柴田 健蔵君
大平 大樹君
森 彩香君



運営幹事
西村 海心君



拡大幹事
藤本 真希君

倉光 智也君 黒岩 大輝君
山口 隆之介君

事務局



事務局長
中村 恭輔君



事務局次長
松尾 諒君



事務局次長
益田 時忠君



事務局次長
毎熊 拳太君

第74回全国大会佐賀大会

Plus Ultra
理想の先へ



10月11日(土)、佐賀市内にて公益社団法人日本青年会議所主催「第74回全国大会佐賀大会」が開催されました。本大会では全国の会員が一年間の活動・運動の集大成を共有し、スローガン「Plus Ultra～理想の先へ～」のもと、次年度への更なる挑戦と成長を誓いました。

また、これまでJCに尽力された卒業予定者を労う卒業式も執り行われ、感謝と決意が込められた大会となりました。

2026年度の全国大会は友好LOMである一般社団法人神戸青年会議所が主管するため、式典では「友情の鍵」が引き継がれ、次年度への誓いが新たに立てられました。

初めて全国大会に参加し、全国から集まった多くの仲間達の姿に圧倒されました。そして、これまでJC活動・運動を牽引してこられた卒業予定者の方々の言葉には、胸が熱くなりました。卒業式は、運動を終える場ではなく、「志を次代へ繋ぐ継承の場」であることを改めて実感しました。(渉外広報委員会・松尾諒)



全国大会LOMナイト



全国大会の式典後、「嬉野温泉 宿屋うちろじ」にてLOMナイトが開催されました。総勢64名の長崎JCメンバーが集い、本年度の卒業予定者である御殿様・御姫様の今までのご尽力を労い、盛大に卒業をお祝いしました。

温かく和やかな雰囲気の中、卒業予定者の皆様がこれまでのJC生活を振り返り、楽しかったことや苦勞したこと、やり残したこと、そして仲間への感謝の思いを語っていただき、「残り3か月、走り抜きたい」との力強い言葉がありました。

LOMナイト終了後は、それぞれに分かれ、嬉野の夜を楽しみながら、仲間との語らいのひとときを過ごしました。



創立72周年記念式典・懇親会



10月3日(金)、「ホテルフラッグス佐世保九十九島」にて【2025年度一般社団法人佐世保青年会議所創立72周年記念式典・懇親会】が開催されました。スポンサーJCである長崎JCからは種田理事長、寺澤専務理事、渉外広報委員会 中山笑里君が参加しました。また長崎ブロック協議会から西岡運営専務が参加しました。

佐世保JC第72代理事長の筒井裕大君からは本年度スローガン「ALL FOR SASEBO」のもと意気込みを力強く語られ、創立から受け継がれる想い、そして次世代へ繋いでいく決意をお話いただきました。そして、種田理事長が登壇し祝辞を述べました。

懇親会ではジャズバンドの素敵な演奏もありました。佐世保JCの皆様、この度は誠にありがとうございます。



“ALL FOR SASEBO”

報恩謝徳
JUNIOR CHAMBER INTERNATIONAL NAGASAKI 2025
敬意と感謝を胸に

平和推進事業

HOPE NAGASAKI～長崎から未来へ希望を繋ぐ～



9月19日(金)、平和会館ホールにて一般社団法人長崎青年会議所 平和推進事業「HOPE NAGASAKI～長崎から未来へ希望を繋ぐ～」を開催しました。かつて敵対した国々のリーダーの子孫達が明るい未来の実現を目指す「HOPE80」の皆様をお招きし、平和についてシンポジウム形式でお話しいただきました。

異なる歴史的背景や経験を交えて対話や和解の重要性を訴えた言葉には心に響くものがあり、普段聞くことのできない新しい視点から平和を考える貴重な機会となりました。

会場には一般から約350名の方にご参加いただき、冒頭には純心女子高等学校音楽部の皆様に「千羽鶴」の合唱を披露していただきました。皆様ご協力ありがとうございました。



平和の灯



長崎から、未来への希望と平和の心を世界へ

9月27日（土）、爆心地公園にて令和7年度「平和の灯」が開催され、長崎JCも参加しました。

会場には、市内の小学校の児童一人ひとりが平和への願いや絵をキャンドルに描きました。当日、約2,800個の手作りキャンドルが並び、優しい光が夜の公園を包み込みました。

この事業は、原爆で亡くなられた多くの方々を慰霊し、その惨禍を決して忘れず、平和の尊さを次の世代へと受け継いでいくための大切な行事です。

また、9月19日に開催された平和推進事業の際に「HOPE80」の皆様にご協力いただいたキャンドルにも火が灯されました。



令和7年度長崎青年3団体交流事業 グループディスカッション&懇親会



9月12日(金)、長崎サンプリエールにて「令和7年度 長崎青年三団体交流事業 グループディスカッション&懇親会」が開催されました。三つの青年団体（長崎商工会議所青年部・長崎青年会議所・長崎青年協会）による恒例の交流事業です。

午前中はエクスカージョンが行われ、午後の部では、「会員拡大」と「三団体で何ができるか」をテーマにグループディスカッションを実施しました。他団体の現状や取り組みを共有し、今後について考える貴重な時間となりました。



その後の懇親会では、交流と親睦を深め、終始和やかで笑顔あふれる会となりました。

長崎の未来を担う青年世代として、三団体が垣根を越えて協力し合うことで、新たな連携と友情の輪を更に広げる機会となりました。これからも互いに協力し、高め合いながら、長崎市の発展に貢献して参ります。

アカデミー会員向け育成事業 ～NEXT CONNECTION ∞ 繋がる力が未来を変える～



共に学び、共に汗を流し、共に進む。



10月5日(日)、公益社団法人日本青年会議所 九州地区 長崎ブロック協議会において、アカデミー会員向け育成事業「～NEXT CONNECTION ∞(インフィニティ) 繋がる力が未来を変える～」が開催されました。

長崎県内7LOMの入会3年未満のアカデミー会員が雲仙市吾妻体育館に集まり、スポーツを通じてJCの理念や基礎知識を学ぶとともに、LOM間の絆を深め、今後のJC活動への意欲を高める貴重な機会となりました。

他LOMのメンバーとチームを組み、ミニバレーボールでは、白熱した試合が繰り広げられました。長崎ブロックの仲間達と汗を流し、心を通わせながら情報交換を行い、互いの理解を深める貴重な機会となりました。



優勝インタビュー

【フォローアップセミナー】 RE:ADY FOR TOMORROW ～ゼロから始める防災意識改革～

近年、全国各地で自然災害が頻発し、その被害は年々激甚化しています。今こそ、地域のリーダーが集う長崎JCが、自助・共助の重要性を学び、災害への備えについて改めて考えるときです。

新入会員は、「防災」をテーマに事業を構築し、防災意識を高め、日頃の備えの大切さを発信して参ります。是非、本事業にご参加いただき、地域の安心・安全について一緒に考えましょう。

※正会員限定のセミナーになります。

11月15日(土)

【フォローアップセミナー】

15時00分～長崎県勤労福祉会館

【懇親会】

19時00分～ホテルリゾート 矢太樓 ※送迎バス有

目指せ！
アンケート回答
500件!!



一般社団法人
長崎青年会議所の
**防災意識調査
アンケート**

あなたの声を聞かせて下さい！

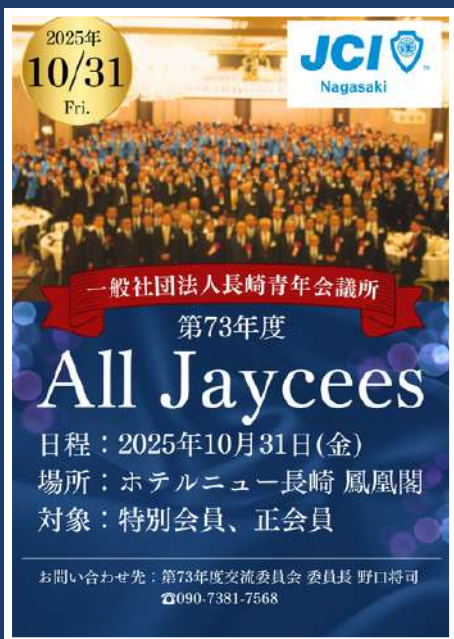
近年、日本各地で自然災害が相次ぎ、災害の発生頻度や被害は年々増加する傾向にあります。長崎では幸いにも大規模な被害はしばらく発生していませんが、災害が少ないからこそ防災への意識や備えが不十分であることが懸念されます。そこで、地域に暮らす皆様の防災意識や備えの実態を把握し、今後の活動等の検討材料とさせていただくためにアンケートを実施しております。是非アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

回答
QRコードまたは
回答期限
2025年
11月1日(土)

お問合せ先
長崎青年会議所 会務課

※クリックして回答をお願いします。
会員拡大委員会 溝上 雄斗

All Jayceesシン・大懇親会のご案内



【開催概要】

日時：2025年10月31日

正会員受付：17時00分

特別会員受付：17時30分より

開宴：18時30分

場所：ホテルニュー長崎3階鳳凰閣

交流委員会 野口 将司

じゃがいも倶楽部

All Jaycees 開催記念 10月例会のご案内

■日時 令和7年10月31日(金)

第一部 7時45分集合

第二部 9時15分集合

■場所 長崎国際ゴルフ倶楽部

住所: 諫早市小ヶ倉町 51

TEL: 0957-22-4086

■プレー費 9,800 円

(セルフプレー・カート・昼食 基本料金付・ロッカー代 / 330 別)

※第一部組はスループレー後に昼食

※第二部組はハーフ終了後に昼食

■会費 3,000 円

※当日の表彰式は行わず、後日、順位表と景品をお届け致します。



開催まで残り僅かとなりましたが、まだまだご参加を受付中です！特別会員の皆様、宜しくお願い致します。

長崎JCとは



※クリックで紹介動画が見られます

長崎JCは1952年12月に発足し「明るい豊かな社会」の構築を念頭に置いて、我々の郷土長崎のみならず、長崎県、九州、日本、そして世界に貢献できる様々な事業を展開して参りました。

我々、長崎JCは「修練」「奉仕」「友情」という三信条のもと、20歳から40歳の青年達が次世代を担う地域のリーダーとなるべく、様々な研修やセミナーを重ねて、個人の資質を向上させ、地域社会に貢献できる人材の育成に努めております。

また、より良い長崎にする

ために奉仕の精神と郷土愛を胸に、活発な議論を交わし、知恵を出し合いながら「ひとづくり」「まちづくり」のための様々な事業を展開しております。そのような事業を通じて共に汗をかき、達成感を共有できるかけがえのない仲間を作ることができることも魅力のひとつです。

報恩謝徳

JUNIOR CHAMBER
INTERNATIONAL
NAGASAKI 2025

敬意と感謝を胸に

今後のJCニュースに活かして
参ります！！アンケートのご回
答を宜しくお願い致します。



一般の方は
➡こちら



特別会員は
➡こちら



正会員は
➡こちら

フォロー、登録をお願いします。

INSTAGRAM



FACEBOOK



X



YOUTUBE



長崎JCホームページ



会員名簿



新着情報

過去の
JCニュース